

燕市・弥彦村 商工会景況調査報告書

実施主体 吉田商工会
弥彦村商工会
分水商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 燕市・弥彦村商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 54 事業所 (うち小規模事業者数 45事業所)
ウ 回答企業数 54 事業所 (うち小規模事業者数 45事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和3年7月 ~ 令和3年12月
(調査時点 令和3年12月31日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	19	35.2%	19	35.2%
建設業	11	20.4%	11	20.4%
卸・小売業	13	24.1%	13	24.1%
サービス業	11	20.4%	11	20.4%
合計	54	100.0%	54	100.0%

2. 製造業の景況概要

当地域の小規模事業所は下請け事業所が多く、「景気や売上は取引先次第」という声も多かった。また、売上や採算に不安はあるものの、設備投資に積極的な事業所も多く見られた。

【後継者の状況】

「後継者あり」「後継者なし」が半分くらいとなった。「後継者あり」の中でも、後継者育成や新体制への移行に課題を抱えている事業所も見られた。

後継者 あり	10	52.6%
後継者 なし	9	47.4%

【売上高】

コロナ禍の影響で飲食関係の受注が減少している一方、「コロナも影響は特になし」という回答も目立った。今後の見通しは「増加」よりも「不変」「減少」との回答が同じくらいに多かった。

前年同期比

増加	不変	減少
8	6	5

前期比

増加	不変	減少
6	9	4

今後の見通し

増加	不変	減少
4	8	7

【採算】

「不変」という回答が最も多いが、印象としては「悪化とまではいかないものの良くはない」ように感じられる。今後の見通しは「悪化」が多くなっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
5	8	6

前期比

好転	不変	悪化
4	9	6

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	9	9

【仕入単価】

鉄、ステンレス、アルミ等の材料単価の上昇が影響し、「上昇」が最も多かった。今後もしばらく材料単価の上昇は続きそうである。「低下」と答えた方はほとんどいなかった。

前年同期比

上昇	不変	低下
12	7	0

前期比

上昇	不変	低下
11	7	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
12	7	0

【販売（客）単価】

「不変」が最も多く、仕入単価の上昇を転嫁できていない現状が見られた。取引先との関係等により、転嫁がなかなか難しいようである。今後の見通しでも「不変」が最も多くなっている。

前年同期比

上昇	不変	低下
2	15	2

前期比

上昇	不変	低下
1	15	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
6	12	1

【資金繰り】

いずれも「不変」が最も多くなっている。悪化しないよう、なんとか持ち堪えている事業所が多いと思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
3	13	3	2	15	2	0	18	1

【雇用動向】

いずれも「減少」がゼロであり、「増加」もしくは「不変」であった。「不変」の中でも従業員不足に悩んでいる事業所も多く、全体的に人手不足を感じる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
3	16	0	3	16	0	5	14	0

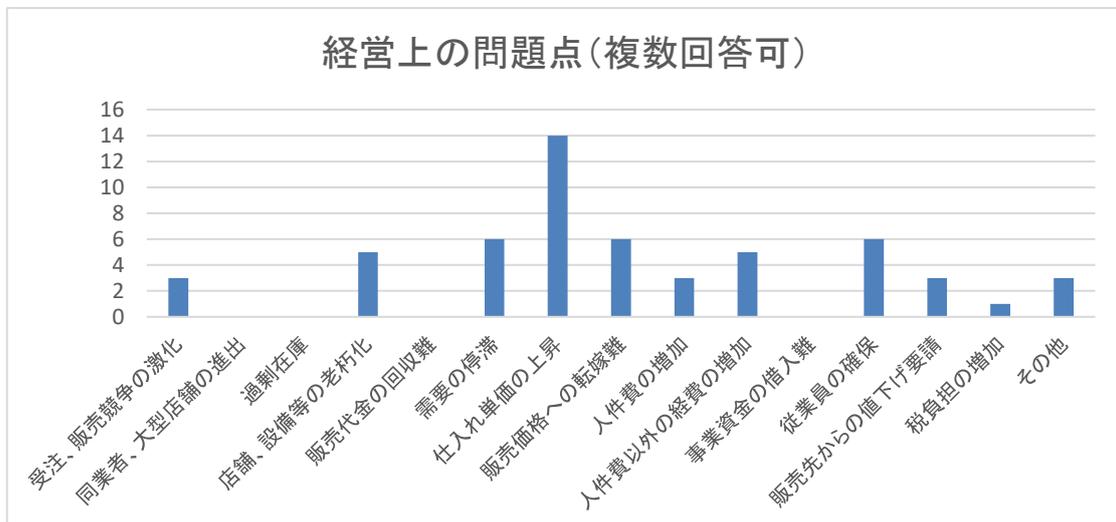
【景況判断】

「不変」が最も多い。今後の見通しでは「好転」「悪化」が減り、「不変」がさらに増えている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
6	7	6	4	11	4	1	15	3

【経営上の問題点】

多い順に「仕入単価の上昇（14票）」「需要の停滞（6票）」「販売価格への転嫁難（6票）」「従業員の確保（6票）」があげられている。



3. 建設業の景況概要

業種によって差はあるが、コロナ禍での需要停滞に加えて、原材料やガソリン・燃料等の価格上昇の影響を受ける事業所も多く見られた。以前より人手不足を訴える声が上がっていたが、今後も人手不足の傾向は続きそうである。

【後継者の状況】

「後継者あり」「後継者なし」が半分くらいとなった。事業承継や後継者育成を重要な経営課題とする事業所もある。

後継者 あり	5	45.5%
後継者 なし	6	54.5%

【売上高】

業種によって売上が回復している事業所もあるが、今後もまだ先の見通せない状況は続きそうである。コロナ禍で必要な資材が海外から入手できずやむを得ず納期が遅れるものもあり、すでに売上に影響が出てきている事業所もある。

前年同期比

増加	不変	減少
1	4	6

前期比

増加	不変	減少
4	3	4

今後の見通し

増加	不変	減少
2	4	5

【採算】

「不変」もしくは「悪化」の事業所がほとんどである。需要・売上の回復が十分でないにもかかわらず、仕入単価は上昇し追い打ちをかけている。

前年同期比

好転	不変	悪化
1	6	4

前期比

好転	不変	悪化
1	6	4

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	5	5

【仕入単価】

2/3が「上昇」、1/3が「不変」と答え、「低下」と答えた事業所はゼロであった。材料費の他に、ガソリンや燃料の価格の上昇も影響が出ている。今後も仕入単価の増加傾向は続きそうである。

前年同期比

上昇	不変	低下
8	3	0

前期比

上昇	不変	低下
7	4	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
8	3	0

【販売（客）単価】

現段階では「不変」が最も多くなっており、材料費や燃料の値上がり分を売上に転嫁できていない状況が伺える。今後は「上昇」が最も多くなっていることから、売上への転嫁が進むと思われる。

前年同期比

上昇	不変	低下
3	5	3

前期比

上昇	不変	低下
4	5	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
5	4	2

【資金繰り】

「不変」が最も多く、次いで「悪化」が多い。売上の減少や仕入単価の上昇で採算が悪化する中、何とか持ちこたえようと努力する事業所が多く見られる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	6	5	1	7	3	1	6	4

【雇用動向】

「不変」が最も多くなっているが、人材不足を訴える事業所も多く見られた。従業員確保が難しく「増やしたくても人材が見つからずに、やむを得ず現状のまま回している」という声もあった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
0	9	2	0	10	1	1	9	1

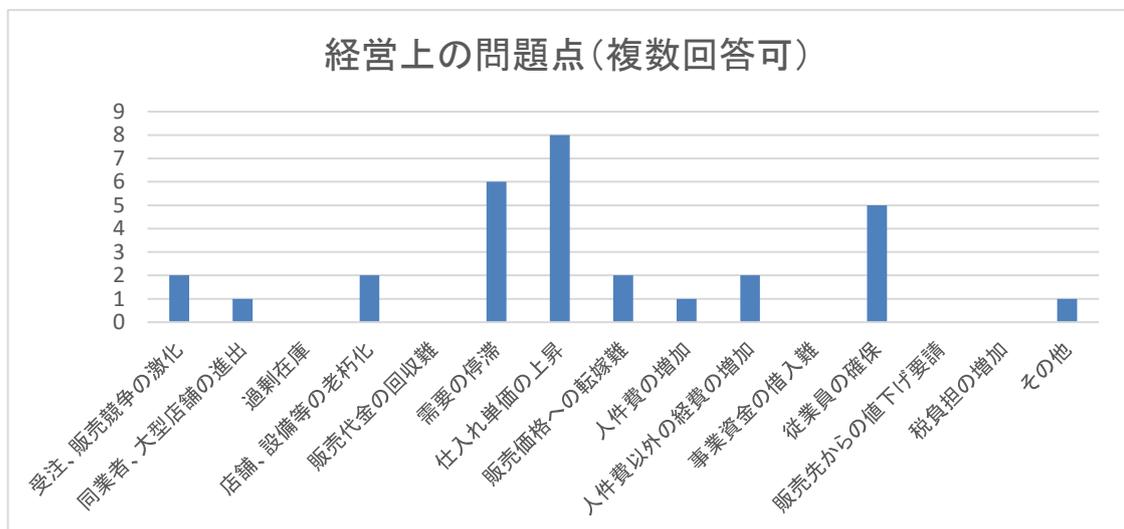
【景況判断】

「好転」と答える事業所は少なく、今後の見通しでは「悪化」が最も多くなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	4	7	2	6	3	1	4	6

【経営上の問題点】

多い順に「仕入単価の上昇（8票）」 「需要の停滞（6票）」 「従業員の確保（5票）」があげられている。



4. 卸・小売業の景況概要

コロナ禍で一般消費者の景気が落ち込み、大きな金額の買い物を控える中で、全体としては景気後退傾向にあるものの、巣ごもり需要を取り込んで売上を伸ばす事業所もある。コロナ禍で積極的にWEBやSNS発信に取り組む事業所も多く見られ、実際にWEBやSNSでの新規集客がうまくいっている事例もあった。

【後継者の状況】

事業主の高齢化が進み、他の業種よりも「後継者なし」の割合が高い。事業承継を行わずに廃業を考える高齢事業主が多いと思われる。

後継者 あり	3	23.1%
後継者 なし	10	76.9%

【売上高】

「減少」が最も多くなっており、コロナ禍での店舗への来店客の減少や買い控えが影響していると考えられる。「増加」と答える事業所の中には、「最も大変だった時期に比べると増加」という意味で「増加」と答える事業所もある。

前年同期比

増加	不変	減少
4	0	9

前期比

増加	不変	減少
3	4	6

今後の見通し

増加	不変	減少
2	5	6

【採算】

「悪化」が最も多くなっており、今後の見通しでは「好転」はゼロ。免税事業者からはインボイス制度による税負担の増加を懸念する声もあげられた。

前年同期比

好転	不変	悪化
2	1	10

前期比

好転	不変	悪化
1	5	7

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	6	7

【仕入単価】

2/3が「上昇」、1/3が「不変」と答え、「低下」と答えた事業所はゼロであった。原材料の高騰が影響していると考えられる。

前年同期比

上昇	不変	低下
10	3	0

前期比

上昇	不変	低下
9	4	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
9	4	0

【販売（客）単価】

前年同期比と前期比では「上昇」「不変」「低下」がほぼ同数であったが、今後の見通しでは「上昇」はほとんどなく「不変」が2/3、「低下」が1/3となっている。

前年同期比

上昇	不変	低下
4	5	4

前期比

上昇	不変	低下
5	4	4

今後の見通し

上昇	不変	低下
1	9	3

【資金繰り】

「不変」が最も多く、次に「悪化」が多くなっている。不変の中には「悪いとまではいかないが良くはない」という回答も目立った。

前年同期比

好転	不変	悪化
2	6	5

前期比

好転	不変	悪化
1	8	4

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	9	4

【雇用動向】

小規模事業者が多いためか、従業員数はそれほど変化がないようである。「増加」はゼロであった。人材不足を上げる事業所もあるが、他業種と比較すると少なく感じられる。

前年同期比

増加	不変	減少
0	12	1

前期比

増加	不変	減少
0	12	1

今後の見通し

増加	不変	減少
0	12	1

【景況判断】

前年同期比と今後の見通しでは3/4、前期比では2/3が「悪化」と回答し最も多くなった。

前年同期比

好転	不変	悪化
2	1	10

前期比

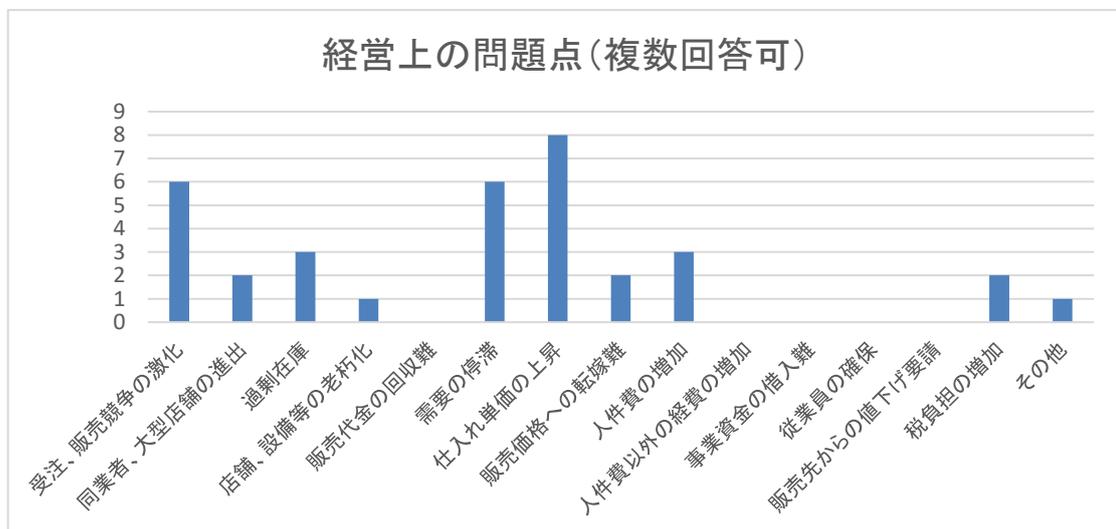
好転	不変	悪化
1	4	8

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	3	10

【経営上の問題点】

多い順に「仕入れ単価の上昇（8票）」「受注、販売競争の激化（6票）」「需要の停滞（6票）」があげられている。



5. サービス業の景況概要

対人接客を要するサービス業では、感染拡大状況により景況が大きく左右されている。多角的事業展開や新規販路開拓等を行って売上確保に努め、「コロナ前までは戻らないものの、一番大変な時期は乗り越えた」と回答する事業所が多く見られた。

【後継者の状況】

「後継者なし」が「後継者あり」の二倍以上となっている。事業主の高齢化が進んでおり、事業承継をせずに廃業を考える事業者も多いと思われる。

後継者 あり	3	27.3%
後継者 なし	8	72.7%

【売上高】

飲食店を中心に徐々に回復傾向の兆しが見え、「減少」の回答が少なくなってきたが、コロナ前までは戻っていない様子である。従来とは異なる新サービスや新メニューを実施することで、売上確保に努める事業者が見られる。

前年同期比

増加	不変	減少
3	3	5

前期比

増加	不変	減少
6	2	3

今後の見通し

増加	不変	減少
3	5	3

【採算】

「不変」が最も多くなっている。「悪化」よりも「好転」の方が多く見られるが、「最も大変な時期からは抜け出した」という意味合いの回答も見られた。

前年同期比

好転	不変	悪化
3	6	2

前期比

好転	不変	悪化
5	4	2

今後の見通し

好転	不変	悪化
4	5	2

【仕入単価】

「上昇」が最も多く、前年同期比、前期比では2/3、今後の見通しでは8割を超えた。「低下」はいずれもゼロであった。

前年同期比

上昇	不変	低下
8	3	0

前期比

上昇	不変	低下
7	4	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
9	2	0

【販売（客）単価】

「不変」が最も多くなっている。仕入単価の上昇分を販売単価に転嫁できず苦労している事業所も見られた。

前年同期比

上昇	不変	低下
3	7	1

前期比

上昇	不変	低下
2	8	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
4	6	1

【資金繰り】

「不変」が2/3、「悪化」が1/3となっており、「好転」はゼロであった。コロナ禍での不振が長引き、経営に響いている様子が伺える。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	8	3	0	7	4	0	8	3

【雇用動向】

ほとんどが「不変」となり、「増加」はゼロであった。もともと小規模事業者のため従業員数の変化は少ないが、コロナ禍での需要減と相まって変化がないようである。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
0	10	1	0	10	1	0	10	1

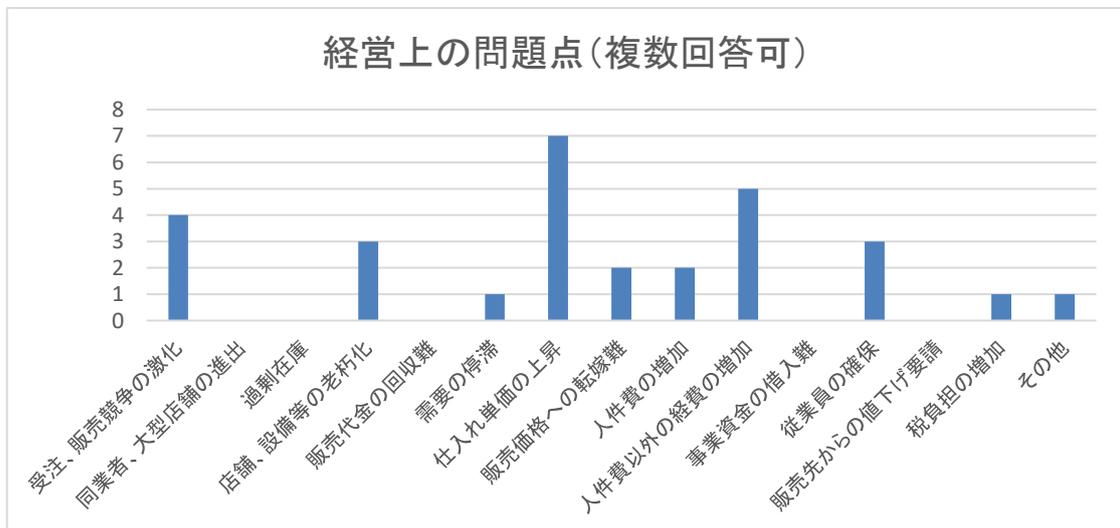
【景況判断】

「不変」が最も多くなっている。特に飲食業や理美容業などの接客業では感染拡大状況によって景況が左右されやすく、見込みが難しいという意見も多かった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	7	2	5	5	1	3	7	1

【経営上の問題点】

多い順に「仕入れ単価の上昇（7票）」「人件費以外の経費の増加（5票）」「受注、販売競争の激化（4票）」があげられている。



(様式⑤)

No.	
-----	--

景況調査ヒアリングシート（令和3年度）

調査対象期間 令和3年 7月～12月
(調査時点 令和3年12月31日)

商 工 会 名	商工会	担当職員名	
企業 の 概 要	業 種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(R2年7月～12月)と比較して	前期(R3年1月～6月)と比較して	今季と比較した来期(R4年1月～6月)の見通し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加 ⑮その他 ()

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響・今後の見通しなど

--